

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	語学演習 (阿部)	
科目基礎情報							
科目番号	0261			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	一般科目			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	一歩上を目指すTOEIC TEST: Level 3 (朝日出版)						
担当教員	阿部 秀樹						
到達目標							
1. TOEICテストで600点以上のスコアを獲得するために必要な語彙・文法を理解、運用ができる。 2. 英語による会話や談話を聴いて内容を理解する標準的な能力を習得する。 3. 英語で書かれた標準的な文章を素早く的確に理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	CEFR Bレベルに達することができる。			CEFR A2レベルに達することができる。		CEFR A1レベルに達することができない。	
評価項目2	CEFR Bレベルに達することができる。			CEFR A2レベルに達することができる。		CEFR A1レベルに達することができない。	
評価項目3	CEFR Bレベルに達することができる。			CEFR A2レベルに達することができる。		CEFR A1レベルに達することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語コミュニケーション能力を測定するために開発された資格試験、TOEICテストや英検において、最低限の英語力指標 (TOEIC600点以上、英検2級以上) に到達するために、ListeningとReading能力の総合的な向上を目標とする。						
授業の進め方・方法	Listening SectionとReading Sectionのそれぞれの特徴と対策を踏まえ、語彙力と文法理解力、読解力を包括的に養成する。						
注意点	試験の成績を70%, 平素の学習状況等(課題・TOEICテスト・レポート等を含む)を30%の割合で総合的に評価する。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Unit 1: Eating Out		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		2週	Unit 2: Travel		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		3週	Unit 3: Amusement		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		4週	Unit 4: Meetings		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		5週	Unit 5: Personnel		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		6週	Unit 6: Shopping		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		7週	Unit 7: Advertisement		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		8週	Unit 8: Daily Life		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
	2ndQ	9週	Unit 9: Office Work		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		10週	Unit 10: Business		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		11週	Unit 11: Traffic		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		12週	Unit 12: Finance and Banking		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		13週	Unit 13: Media		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		14週	Unit 14: Health and Welfare		ペアワークやグループワークを通して、授業で学習したことの60%を理解できる。		
		15週	Exam		演習問題に於いて60%以上の正解率を示すことができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3		
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3		
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3		
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3		
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3		

				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	10	20	0	100
基礎的能力	70	0	0	10	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0